

本庁舎建替基本計画を策定しました

たてかえ



▲新本庁舎および各機能配置のイメージ図

- 建物配置の主な方向性**
- 勾当台公園市民広場との一体的な利活用
 - 勾当台公園地下駐車場との連携
 - 地下鉄勾当台公園駅との地下連絡通路の新設
 - 周辺の緑との調和に向けた敷地内緑化

新本庁舎は現在の敷地内に1棟整備します

市では、7月に「仙台市役所本庁舎建替基本計画」を策定しました。この計画は、平成30年8月に策定した「仙台市役所本庁舎建替基本構想」を踏まえ、設計に向けた条件を定めたものです。計画策定に当たっては「仙台市役所本庁舎建替基本計画検討委員会」において議論を重ねたほか、市民シンポジウムやパブリックコメントを実施。市民の皆さまから寄せられた意見を積極的に取り入れて検討を深めてきました。

基本計画では「市民とともに、まちとともに新たな時代に向けてチャレンジする市庁舎―市民の豊かな暮らしと安心のために」をテーマに基本整備方針を4つ（下図）にまとめています。新庁舎は、迅速な災害対応等の観点から、現在の敷地内に1棟整備します。高さは最大80メートルとし、延べ床面積は5万8000から6万平方メートルと設定。現庁舎の耐震性能が耐用限界を迎える前の令和10年度中の供用開始を目指します。新本庁舎の高層部には、議会機

能を配置し、新たに広報・案内機能を備え、市民に身近で開かれた議会を目指します。行政機能は中高層部に置き、業務効率や市民サービスの向上を図るほか、中低層部には災害対策機能を配置。非常に時に迅速に対応できるよう災害情報センターや備蓄倉庫も設置します。低層部には、市民利用・情報発信機能を配置し、東北の魅力を伝え、市民が新たな交流を育む場とするともに、定禅寺通・勾当台公園市民広場からのまちのにぎわいの連続性を考慮します。敷地内広場は、勾当台公園市民広場と一体的な利活用を図り、より大規模なイベントに対応できるようにするとともに、人が集い憩う環境となるように検討します。また、勾当台公園地下駐車場や地下鉄勾当台公園駅と連携し、アク

セスしやすい環境を整えるほか、周辺の緑と調和した植栽を行います。

今後のスケジュール

令和10年度中の供用開始に向け、本年度末から基本設計に着手し、令和6年度から工事を始める予定です。また、勾当台公園市民広場との一体的な利活用に向けた具体的な手法や、定禅寺通周辺も含めたにぎわい創出について、さらに検討を進めます。

本庁舎の建て替えは、今後の仙台のまちづくりにおいて重要なプロジェクトです。市民の皆さまに愛される新本庁舎となるよう、着実に事業を進めていきます。

この特集に関するお問い合わせは
本庁舎建替準備室 ☎214・3170、
FAX 214・8379

本庁舎建替基本計画 4つの基本整備方針

新時代のまちづくり へのチャレンジ

- 周辺施設との一体性に配慮した庁舎整備
- 情報発信機能の強化
- 「協働まちづくり」に寄与する場の整備
- 市民に身近で開かれた議会・行政を実現

いかなる災害にも備える チャレンジ

- 東日本大震災から得られた教訓の活用
- 災害対策本部の設置・機能強化、災害時における議会・行政の業務継続性の強化

ユニバーサルな場の創出 へのチャレンジ

- 分散する事務室等の集約、来庁時の交通環境等の改善、誰もが利用しやすい施設の実現
- 職員が働きやすい職場環境づくり
- 社会の変化等に柔軟に対応できる庁舎

未来の地球環境に貢献 するためのチャレンジ

- 環境負荷の低減
- ライフサイクルコストの最適化
- 都市景観との調和